

<p>2019年 12月号No. 106 毎月6日発行</p>		<h1 style="text-align: center;">原水協通信 (茨城版)</h1> <p>原水爆禁止茨城県協議会 〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281 茨城平和会館内 TEL/FAX 029-251-9919 e-mail antiatom-i@email.plala.or.jp 会長 加藤 岑生</p>	<p>原水協通信 頒価 ¥220/月</p> <p>核兵器廃絶署名 47,710筆 ('19.12/3)</p>
---	---	---	--

ローマ教皇の被爆地訪問・世界へ警鐘

カトリックの最高指導者フランシスコ教皇は24日夕、被「爆地長崎で雨の中、「焼き場に立つ少年」のパネル写真の傍らに立ち、広島・長崎の被爆者の声が次世代への警告となるように」と、人道的・環境的観点から核兵器の使用を批判、「カトリック教会は、国家間の平和の実現に不退転の決意を固めている。」と述べました。

25日には広島で、平和の巡礼者としてこの場所を訪れる義務を述べ、被爆者へ敬意と核兵器の使用を「犯罪」であると断罪、「戦争のための最新鋭兵器を製造しながら平和について話すことはできない。」と。

安倍首相は「核兵器禁止条約は安全保障の現実を踏まえずに作成された。」と述べ、「非現実的条約」と切り捨て、米国の核の傘に今後も依存し続けてこれからも唯一の被爆国でありながら、背を向け続ける意志を鮮明にしました。今回の教皇の来日を、核兵器廃絶の意義を大きく広める契機にしましょう。



長崎爆心地付近で

署名を積み上げ、今年こそ日本も核兵器禁止条約の署名・批准を！

2020年新春「ヒバクシャ国際署名」をみんなの力で広げに広げましょう！

核兵器の保有5カ国をはじめ依然として核にしがみついている国がありますが、他ならぬ「唯一の被爆国」の日本政府の態度を変えさせなくてはならないし、変えさせられるのは私たちの運動しかありません。ここに確信を持って、国内外に働きかけを強め、子々孫々まで安心して過ごせる社会を築くことが、今を生きる私たちの使命ではないでしょうか。

米国は自らを正当化するため、原爆を「勝利の兵器」と呼び、原爆投下によって「米兵の多くの命が助かった」などと残虐で血塗られた歴史を糊塗する考え方が、今も国民の中に沈殿しています。

歴史の真実を知らねばならないことは、どの国、どの民族も同じ。歴史に向き合わなければ、再び過ちを繰り返してしまいます。



2019新春署名(水戸駅南口)

核兵器廃絶批准国の現在

11月26日、アンティグア・バーブーダ(キューバ、ハイチ、からグレナダに至るカリブ海を囲む大アンティル諸島の島国)が批准、

34カ国に到達。これで発効の条件の50カ国までにあと、16カ国となりました。



////////////////////

★ とき：2020年1月6日

正午～午後1時まで

★ ところ：水戸駅南口ペディストリアンデッキ

※ 正月の最中ですが、組織、個人を問わず多くの方の参加をお願いします。私たちの訴えに、耳を傾けてくださる方へ署名をお願いしてください。

核兵器禁止条約を批准する政府を作りましょう！

年末カンパのお願い

原水協活動が資金不足のため、困難をきたしています。事務所で活動する四人の役員は交通費のみ、資材代金や必要経費の捻出にも頭を悩ましております。

何かと物入りの多い時期ではありますが、年末にかけて被爆者への援護・連帯募金と、茨城県原水協の組織の維持のため、心苦しいところですが、なにとぞ趣旨をご理解の上、皆様のカンパをお願いいたします。

郵便振替口座 0019-4-661349

常陽銀行本店 普通講座 6945584

※ いずれも名義は原水爆禁止茨城県協議会

今月の草花



松尾芭蕉も食用菊を好み、菊について次の句を詠んでいます。

蝶も来て
酔を吸う菊の
鱈(なます)かな
(柳)

菊は中国から伝来し、薬用・食用のほかお茶にもされて利用してきました。食用は苦味が少なく、花弁を大きく改良され、食用菊の「横綱」といわれています。黄色系、紫色の二つに大別され、さらにその中にもいくつもの種類があります。最近ではハウス栽培で、年間を通して出荷され、山形県が全国一です。

菊(もつてのほか・食用菊)

731部隊跡地見学の報告

11月、中国ハルビン市平房区にある731部隊跡地を見学してきました。跡地には、有名なボイラー室遺跡などが保存されています。他に、遺跡の発掘保存、731部隊本部建物の復元、侵華日本軍第731部隊罪証陳列館などがあり、中国語、英語、朝鮮語、日本語の音声ガイドが借りられます。ハルビン市街地から車で40分位の場所にあるため日本人はあまり来ないと思っていましたが、受



731部隊跡地・ハルビン市平房区

「原水協通信」2019年12月号・3面から

原水爆禁止世界大会ニューヨーク成功へ「ヒバクシャ国際署名」をひろげよう

会議名称 「世界大会——核兵器廃絶、気候の危機の阻止と反転、社会的経済的正義のために」

日時 2020年4月24日（金）18時～21時、4月25日（土）9時～18時

会場 ニューヨーク市マンハッタン/リバーサイド教会・大ホール（2000人収容可能）

プログラム案

4月24日（金）開会総会（18時～21時）

日本の合唱団による歌、先住民による祈祷で開会、歓迎のあいさつ、ノーベル平和賞受賞者など著名人のあいさつ・ビデオメッセージ（ノーム・チョスキーほか）、核兵器問題、気候危機、経済・社会的公正問題を結び付けた基調演説、各分野を代表しての発言（アメリカの反核運動、貧困問題など）

4月25日（土）全体会議（9時～12時）

諸問題の分析に焦点を当てたパネル（第1部）と、運動体代表によるパネル（第2部）（発言者：日本被団協、原水禁、韓国の被爆者、南アジア・北東アジアの運動体、ロシア、ヨーロッパの反核運動、各国の政治リーダー、非核国の外交官など）

4月25日（土）分科会（13時～14時半、14時半～16時）

フォーラム（大規模分科会）「世界のヒバクシャ」「国会議員とNGOの共同」を予定

分科会（2コマ10カ所）「軍事支出」、「右翼・独裁政権の台頭と抵抗」、「原発と核兵器」、「軍事基地・同盟・核の傘」、「米大統領選挙に向けた政治変革を目指す運動」、「気候危機」、「非暴力抵抗運動」、「青年の運動」など。その他のテーマのワークショップ開催希望を募集中。

4月25日（土）閉会総会（16時～17時）

グテレス国連事務総長（招請中）、今後の運動の展望についての発言（ICAN、ITUC、原水協、平和首長会議ほか）

世界大会主催者の責任で「大会宣言文」を発表。発言者はすべて予定。

4月26日には、ニューヨーク市内で、「ヒバクシャ国際署名」のNPT再検討会議・国連への提出、市内パレード、平和フェスティバルが予定されています。

付で聞くと日本人は毎日来ているとのことでした。

陳列館には日本軍の細菌戦、731部隊、人体実験、細菌兵器の開発製造、細菌戦の実施などについての資料、説明文、模型などが展示され、パンフレットには、「日本は、中国を侵略していた時期、[ジュネーブ議定書]などの国際法に違反し、計画的、組織的に731部隊を指揮し、主体的に細菌戦のシステムを作り上げ、極秘に細菌兵器の研究製造、人体実験、生体解剖、動植物実験を行った。さらに大規模な細菌戦を準備、実施し、多くの国民を死傷させ、経済的損失と精神的苦痛をもたらした。これは想像を絶する人災であり、人類生存と自然生態環境に深刻な危害を与えたものである。侵華日本軍第731部隊罪証陳列館の展示は、独特な歴史的使命を負っている。日本の細菌戦に関する膨大な罪状証拠、歴史資料と口述史料を用いて、日本細菌戦部隊の反人類、反文明、反倫理の本質を全面的に暴露し、人々に戦争を引き起こした人間性について反省を喚起する使命である。」と書かれています。

731部隊については森村誠一の「悪魔の飽食」は有名だと思いますが、芝田進午はバイオハザードの研究で731部隊の研究者が戦後日本の医学界、大手製薬会社に君臨して日本の医療体制を支配して来たと告発しています。そして現在、加藤哲郎が芝田の意志を引継ぎこの研究をしています。この問題は決して過去の問題ではなく、特に安倍政権の歴史修正主義が蔓延る現在、現在と未来の問題だと思います。

最後に、ここを案内してくれた中国の友人とは22年振りの再会でしたが、彼の賃金は10倍になっているとのこと。尚、毛沢東時代は核兵器開発のため中国では17年間賃金が上がらなかったとも言っていました。機会があれば見学する事をお勧めします。（澤島）



編集後期

♪月日の経つのも夢のうちと、浦島太郎ではないですが、もう師走です。

毎年このことです。が、年も押し詰まってきたら、年賀はがきをおっとり刀で片付けます。今はパソコンでなく、すべて手書きで。言いたいこと、書きたいことは山程ありますが、そこは抑えて抑えて…。

郵便料金も馬鹿になりません。でも、日光の三猿にはなっていないけません。

今年の特筆すべき出来事は、日韓関係がギクシャクする中、平和行進に韓国の20歳の女学生のアン・スルギさんが参加されたことでした。彼女の勇氣に敬意を表します。

また、先月の末にバチカンのフランシスコ教皇が来日、長崎、広島、東京から「核兵器廃絶」を全世界に向けて力強く訴えたことは、被爆者をはじめ、日本全体への大きな励ましになりました。

このことに応えるべく、さっそくアクションを！
激動の来年も、宜しく
願います。（柳）